

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成23年8月10日

**【四半期会計期間】** 第18期第1四半期  
(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

**【会社名】** 株式会社フージャースコーポレーション

**【英訳名】** Hoosiers Corporation

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役 廣岡 哲也

**【本店の所在の場所】** 東京都千代田区神田美土代町9番地1

**【電話番号】** 03(3295)8408

**【事務連絡者氏名】** 管理部長 伊藤 晴康

**【最寄りの連絡場所】** 東京都千代田区神田美土代町9番地1

**【電話番号】** 03(3295)8408

**【事務連絡者氏名】** 管理部長 伊藤 晴康

**【縦覧に供する場所】** 株式会社フージャースコーポレーション 埼玉支店  
(埼玉県さいたま市南区南浦和二丁目36番8号)

株式会社フージャースコーポレーション 横浜支店  
(神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町二丁目12番12号)

株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号1)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第17期 第1四半期 連結累計期間	第18期 第1四半期 連結累計期間	第17期
	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	3,702,768	438,778	8,651,198
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	1,739,620	195,945	1,942,458
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失 ( ) (千円)	1,730,520	202,879	2,628,744
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,730,520	202,879	2,628,744
純資産額 (千円)	4,441,427	5,073,661	5,339,652
総資産額 (千円)	20,818,909	24,399,299	24,069,367
1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は四半期純損失金額 ( ) (円)	5,484.04	642.93	8,330.52
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	21.3	20.8	22.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第17期第1四半期累計期間及び第17期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 第18期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
5. 第17期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業等のリスクに重要な変更及び新たに生じたりリスクはありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におきまして、契約戸数は253戸、引渡戸数は107戸、当第1四半期連結会計期間末の管理戸数は6,974戸となっております。その結果、当第1四半期連結累計期間における業績として、売上高438,778千円（前年同四半期比88.1%減）、営業損失59,337千円（前年同四半期は営業利益1,836,061千円）、経常損失195,945千円（前年同四半期は経常利益1,739,620千円）、四半期純損失202,879千円（前年同四半期は四半期純利益1,730,520千円）を計上いたしました。

当社グループの主力事業であります不動産販売事業において、分譲マンション及び戸建住宅の多くは、工事途中に契約が進捗いたしますが、その売上高は売買契約成立時ではなく、建物完成後の顧客への引渡時に計上されるため、その引渡時期により四半期ごとの売上高に偏りが生じる傾向があります。

当連結会計年度におきましては、当第1四半期連結会計期間に自社分譲物件の引渡は無く、営業損失となっておりますが、当第3四半期連結会計期間に自社分譲物件の引渡及び売上高の計上が集中する計画となっております。

なお、当連結会計年度の引渡物件に関しまして、当第1四半期連結会計期間の末日現在において、自社分譲物件では425戸、販売代理物件では172戸の契約を完了しており、順調に推移しております。

セグメントごとの業績を示しますと、次のとおりであります。

#### ( ) 不動産販売事業

当第1四半期連結累計期間におきまして、売上高266,116千円（前年同四半期比92.4%減）、営業損失74,648千円（前年同四半期は営業利益1,806,086千円）を計上いたしました。

##### 不動産売上高

当連結会計年度におきましては、第1四半期に自社分譲物件の引渡は無く、第3四半期に自社分譲物件の引渡及び売上高の計上が集中する計画となっていることから、第1四半期では不動産売上高はございません。

##### 販売手数料収入

「サンクタス春日部」「カテリーナ三田」等107戸の引渡により、売上高170,332千円（前年同四半期比80.5%減）を計上いたしました。

##### その他収入

ローン取扱手数料の他、販売代理業務に伴う業務受託収入等を合わせまして、売上高95,784千円（前年同四半期比87.1%減）を計上いたしました。

( ) 不動産管理事業

当第1四半期連結累計期間におきまして、売上高172,662千円（前年同四半期比9.3%減）、営業利益13,810千円（前年同四半期比51.5%減）を計上いたしました。

マンション管理収入

マンション管理においては、売上高162,513千円（前年同四半期比1.4%減）を計上いたしました。

その他収入

保険代理事業、生活サービス事業及び工事受託事業を中心に、売上高10,148千円（前年同四半期比60.3%減）を計上いたしました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末におきまして、事業用地の仕入れ及び手数料収入等により、資産合計が24,399,299千円（前連結会計年度末比1.4%増）、負債合計が19,325,638千円（前連結会計年度末比3.2%増）、純資産合計が5,073,661千円（前連結会計年度末比5.0%減）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

売上実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	前年同四半期比 (%)
	売上高 (千円)	売上高 (千円)	
( ) 不動産販売事業			
不動産売上高	1,899,202		
販売手数料収入	871,525	170,332	19.5
その他収入	741,708	95,784	12.9
不動産販売事業合計	3,512,436	266,116	7.6
( ) 不動産管理事業			
マンション管理収入	164,743	162,513	98.6
その他収入	25,588	10,148	39.7
不動産管理事業合計	190,332	172,662	90.7
合計	3,702,768	438,778	11.9

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
3 当社グループの主力事業であります不動産販売事業においては、売買契約成立時ではなく顧客への引渡時に売上が計上されるため、その引渡時期により四半期ごとの売上高に偏りが生じる傾向があります。

販売実績

区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)			
	期初契約残 戸数 区画 取扱高	期中契約数 戸数 区画 取扱高 (前年同四半期比)	期中引渡数 戸数 区画 取扱高 (前年同四半期比)	期末契約残 戸数 区画 取扱高 (前年同四半期比)
不動産販売	84 戸 1 区画 3,025,152 千円	175 戸 2 区画 5,555,022 千円 (53.4%)	129 戸 2 区画 4,157,940 千円 (52.9%)	130 戸 1 区画 4,422,235 千円 (42.9%)

区分	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)			
	期初契約残 戸数 取扱高	期中契約数 戸数 取扱高 (前年同四半期比)	期中引渡数 戸数 取扱高 (前年同四半期比)	期末契約残 戸数 取扱高 (前年同四半期比)
不動産販売	381 戸 13,281,447 千円	253 戸 9,329,882 千円 (168.0%)	107 戸 4,290,780 千円 (103.2%)	527 戸 18,320,549 千円 (414.3%)

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2 取扱高はマンション及び戸建住宅等の販売価格(税抜)総額であり、共同事業・販売代理物件におきましては売主に帰属する売上高を含んでおります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,300,000
計	1,300,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	326,115	326,115	東京証券取引所 (市場第一部)	(注)
計	326,115	326,115		

(注) 権利内容に何ら限定のない、当社における標準となる株式であります。なお、当社は単元株制度を採用しておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価格修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年6月30日		326,115		2,400,240		

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 10,559		
完全議決権株式(その他)	普通株式 315,556	315,556	
単元未満株式			
発行済株式総数	326,115		
総株主の議決権		315,556	

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成23年3月31日現在の株主名簿により記載しております。

## 【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対す る所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社フージャース コーポレーション	東京都千代田区神田美土代町9-1	10,559		10,559	3.24
計		10,559		10,559	3.24

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、海南監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,174,859	3,301,718
売掛金	111,146	83,979
仕掛販売用不動産	16,056,981	17,026,133
前払費用	281,865	438,164
繰延税金資産	1,161,236	1,159,542
その他	133,297	214,901
貸倒引当金	31,624	16,493
流動資産合計	21,887,763	22,207,946
固定資産		
有形固定資産	1,783,866	1,792,982
無形固定資産	41,760	37,833
投資その他の資産	1 355,977	1 360,536
固定資産合計	2,181,604	2,191,353
資産合計	24,069,367	24,399,299
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	270,703	389,001
短期借入金	6,885,100	6,636,500
1年内返済予定の長期借入金	7,163,000	7,443,000
未払法人税等	29,429	6,380
前受金	987,561	1,511,620
預り金	217,677	252,373
賞与引当金	27,561	15,642
その他	358,016	287,709
流動負債合計	15,939,050	16,542,227
固定負債		
長期借入金	2,730,000	2,720,000
繰延税金負債	8,893	8,893
資産除去債務	23,566	23,690
その他	28,206	30,827
固定負債合計	2,790,665	2,783,410
負債合計	18,729,715	19,325,638
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,400,240	2,400,240
利益剰余金	3,670,476	3,404,486
自己株式	731,065	731,065
株主資本合計	5,339,652	5,073,661
純資産合計	5,339,652	5,073,661
負債純資産合計	24,069,367	24,399,299

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,702,768	438,778
売上原価	1,536,029	159,531
売上総利益	2,166,739	279,247
販売費及び一般管理費	330,677	338,584
営業利益又は営業損失( )	1,836,061	59,337
営業外収益		
受取利息	54	31
解約金収入	-	200
受取手数料	1,556	1,608
その他	1,833	400
営業外収益合計	3,445	2,240
営業外費用		
支払利息	98,312	110,379
支払手数料	963	4,586
その他	610	23,883
営業外費用合計	99,886	138,848
経常利益又は経常損失( )	1,739,620	195,945
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,132	-
特別利益合計	4,132	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	1,743,753	195,945
法人税、住民税及び事業税	9,486	5,239
法人税等調整額	3,746	1,694
法人税等合計	13,232	6,933
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	1,730,520	202,879
四半期純利益又は四半期純損失( )	1,730,520	202,879

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	1,730,520	202,879
四半期包括利益	1,730,520	202,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,730,520	202,879
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## 【追加情報】

<b>当第1四半期連結累計期間</b> (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

## 【注記事項】

## (四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 926 千円	1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 874 千円
2 偶発債務 顧客の金融機関からの借入金に対する保証債務 27,938 千円	2 偶発債務 顧客の金融機関からの借入金に対する保証債務 27,801 千円

## (四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
季節的変動性 当社グループの主力事業であります不動産販売事業においては、売買契約成立時ではなく顧客への引渡時に売上が計上されるため、その引渡時期により四半期ごとの売上高に偏りが生じる傾向があります。	季節的変動性 同左

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	16,765千円	18,433千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月25日 定時株主総会	普通株式	63,111	200	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	不動産 販売事業	不動産 管理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,512,436	190,332	3,702,768		3,702,768
セグメント間の内部 売上高又は振替高		1,350	1,350	1,350	
計	3,512,436	191,682	3,704,118	1,350	3,702,768
セグメント利益	1,806,086	28,475	1,834,561	1,500	1,836,061

(注) 1 セグメント利益の調整額1,500千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	不動産 販売事業	不動産 管理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	266,116	172,662	438,778		438,778
セグメント間の内部 売上高又は振替高		1,350	1,350	1,350	
計	266,116	174,012	440,128	1,350	438,778
セグメント利益又は損失( )	74,648	13,810	60,837	1,500	59,337

(注) 1 セグメント利益又は損失( )の調整額1,500千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失( )と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )	5,484円04銭	642円93銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	1,730,520	202,879
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )(千円)	1,730,520	202,879
普通株式の期中平均株式数(株)	315,556	315,556

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第1四半期連結累計期間においては、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、当第1四半期累計期間においては、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月10日

株式会社 フージャースコーポレーション  
取締役会 御中

### 海南監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	古川 雅一
指定社員 業務執行社員	公認会計士	溝口 俊一

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フージャースコーポレーションの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フージャースコーポレーション及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。